

手 続 補 正 書

(法第 1 1 条の規定による補正)

特許庁長官 殿

1. 国際出願の表示 P C T / J P 2 0 0 5 / 0 0 0 4 8 9

2. 出 願 人

名 称 松下電器産業株式会社
MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

あて名 〒 5 7 1 - 8 5 0 1 日本国大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地
1006, Oaza Kadoma, Kadoma-shi, Osaka 571-8501 Japan

国 籍 日本国 J A P A N

住 所 日本国 J A P A N

3. 代 理 人

氏 名 弁理士 (7 7 9 3) 前 田 弘
MAEDA Hiroshi



あて名 〒 5 4 1 - 0 0 5 3
日本国大阪府大阪市中央区本町 2 丁目 5 番 7 号 大阪丸紅ビル
Osaka-Marubeni Bldg., 5-7, Hommachi 2-chome,
Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka 541-0053 JAPAN

4. 補正の対象

請求の範囲

5. 補正の内容 別紙添付書類に記載の通り。

- (1) 請求の範囲第28頁第1項第1行目ー第2行目「読み出して」を、
「読み出し、読み出されたビットストリームを解析し、得られた
ストリーム解析情報と前記読み出されたビットストリームとを」
に補正する。
- (2) 請求の範囲第28頁第1項第3行目「前記リード装置の」の前に、
「前記読み出されたビットストリームのVOBU (Video Object Unit) の大きさ以上の容量を有し、」を挿入する。
- (3) 請求の範囲第28頁第1項第5行目「ナビゲーションパックに」
の前に、「前記ストリーム解析情報を用いて」を挿入する。
- (4) 請求の範囲第28頁第1項第6行目「前記ナビゲーションパック
生成部の」の前に、「前記読み出されたビットストリームのVOBUの大きさ以上の容量を有し、」を挿入する。
- (5) 請求の範囲第28頁第1項第7行目「DVDビデオ規格に」の前
に、「前記ストリーム解析情報を用いて」を挿入する。
- (6) 請求の範囲第28頁第1項第9行目ー第10行目「前記リード装
置、前記ナビゲーションパック生成部、及び前記ライト装置のう
ちの少なくとも2つが」を、「前記リード装置と前記ライト装置
とが」に補正する。
- (7) 請求の範囲第28頁第2項を削除する。
- (8) 請求の範囲第30頁の第12項第2行目「VOBU (Video Object Unit) の」を、「前記読み出されたビットストリームのVOBUの」に補正する。
- (9) 請求の範囲第32頁第19項第5行目「前記リード装置の」の前
に、「前記読み出されたビットストリームのVOBUの大きさ以
上の容量を有し、」を挿入する。
- (10) 請求の範囲第32頁第19項第8行目「前記リード装置、及び

前記ライト装置が」を、「前記リード装置と前記ライト装置とが」に補正する。

6. 添付書類の目録

請求の範囲第28頁、第30頁、及び第32頁

各1通

請求の範囲

- [1] (補正後) DVDビデオレコーディング規格に準拠したビットストリームを第1の蓄積装置から読み出し、読み出されたビットストリームを解析し、得られたストリーム解析情報と前記読み出されたビットストリームとを出力するリード装置と、

前記読み出されたビットストリームのVOBU (Video Object Unit) の大きさ以上の容量を有し、前記リード装置の出力を格納して出力する第1のバッファと、

前記第1のバッファから出力されたビットストリームにおけるリアルタイムデータ情報パックを、前記ストリーム解析情報を用いてナビゲーションパックに置き換え、出力するナビゲーションパック生成部と、

前記読み出されたビットストリームのVOBUの大きさ以上の容量を有し、前記ナビゲーションパック生成部の出力を格納して出力する第2のバッファと、

前記第2のバッファから出力されたビットストリームを、前記ストリーム解析情報を用いてDVDビデオ規格に準拠したビットストリームに変換し、第2の蓄積装置に書き込むライト装置とを備え、

前記リード装置と前記ライト装置とが並列に動作することができるよう構成された高速ダビング装置。

- [2] (削除)

- [3] 請求項1に記載の高速ダビング装置において、
前記第1のバッファは、
その容量が、前記第1の蓄積装置が有するキャッシュメモリの容量以下であることを特徴とする高速ダビング装置。

- [4] 請求項1に記載の高速ダビング装置において、
前記第2のバッファは、

し、1つのビットストリームとして出力するものである
ことを特徴とする高速ダビング装置。

- [9] 請求項8に記載の高速ダビング装置において、
前記所定の数は、16である

ことを特徴とする高速ダビング装置。

- [10] 請求項8に記載の高速ダビング装置において、
前記所定の数は、8である

ことを特徴とする高速ダビング装置。

- [11] 請求項1に記載の高速ダビング装置において、
前記第1のバッファを複数備え、
前記リード装置は、

前記DVDビデオレコーディング規格フォーマットのデータを所定のサイズのデータ毎に分割して格納した複数の前記第1の蓄積装置から、ビットストリームを読み出して、複数の前記第1のバッファのうち、その読み出されたビットストリームを出力した第1の蓄積装置に対応させたバッファに出力するものであり、かつ、複数の前記第1の蓄積装置のうち、1つからの読み出しを開始すると、他の1つからの読み出しを開始するものである

ことを特徴とする高速ダビング装置。

- [12] (補正後) 請求項11に記載の高速ダビング装置において、

前記所定のサイズは、前記読み出されたビットストリームのVOBUの大きさの整数倍である

ことを特徴とする高速ダビング装置。

- [13] 請求項1に記載の高速ダビング装置において、

前記ライト装置で変換されて得られたDVDビデオ規格に準拠したビットストリームを、前記第1の蓄積装置に書き込む書き込み部を更に備え、

前記リード装置は、

ダビング終了後、同一の内容を再度ダビングする場合には、前記第1の蓄積装置に書き込まれたDVDビデオ規格に準拠したビットストリームを読み出すものであり、

前記ライト装置は、

前記著作権情報として、CGMS (Copy Generation Management System) 情報を監視するものである

ことを特徴とする高速ダビング装置。

[18] 請求項16に記載の高速ダビング装置において、

前記リード装置は、

DVDビデオレコーディング規格に準拠したビットストリームの第1の部分についての著作権情報がコピー不可であり、それに続く第2の部分についての著作権情報がコピー可であることを示している場合には、前記第1の部分の時間情報を保持し、前記第2の部分の時間情報から前記第1の部分の時間情報を減じた結果を、前記第2の部分の時間情報として用いるものである

ことを特徴とする高速ダビング装置。

[19] (補正後) DVDビデオレコーディング規格に準拠したビットストリーム、及び前記ビットストリームに付与されたナビゲーションパックを第1の蓄積装置から読み出し、前記ビットストリームにおけるリアルタイムデータ情報パック又は前記ナビゲーションパックのいずれかを削除して出力するリード装置と、

前記読み出されたビットストリームのVOBUの大きさ以上の容量を有し、前記リード装置の出力を格納して出力するバッファと、

前記バッファから出力されたビットストリームをDVDビデオ規格に準拠したビットストリームに変換し、第2の蓄積装置に書き込むライト装置とを備え、

前記リード装置と前記ライト装置とが並列に動作することができるよう構成された高速ダビング装置。

[20] 請求項19に記載の高速ダビング装置において、

前記バッファは、

その容量が、前記第1の蓄積装置が有するキャッシュメモリの容量以下であり、かつ、前記第2の蓄積装置が有するキャッシュメモリの容量以下であることを特徴とする高速ダビング装置。

[21] 請求項19に記載の高速ダビング装置において、

第1の蓄積装置から読み出しを行うことによって、前記第1の蓄積装置が有するキャ